

人生100年時代

これからの「老人福祉施設」を支える

玉縄すこやかセンター所長

しまむら とよかず
嶋村 豊一さん



玉縄台バス停からすぐの住宅街。午前9時のオープンと同時に利用者が訪れる。入浴施設が開く10時半に向けてロビーはだんだん賑やかになっていく。

「お風呂の利用の方だけでも一日に20人～30人、加えてサークル活動のみなさんがいらっしゃいます。今日は太極拳、すでに上のグラウンドで始まっていますよ。」案内してくださったのはこの4月からセンター長となった嶋村豊一さん。市役所などの仕事を経て現職に就いた。

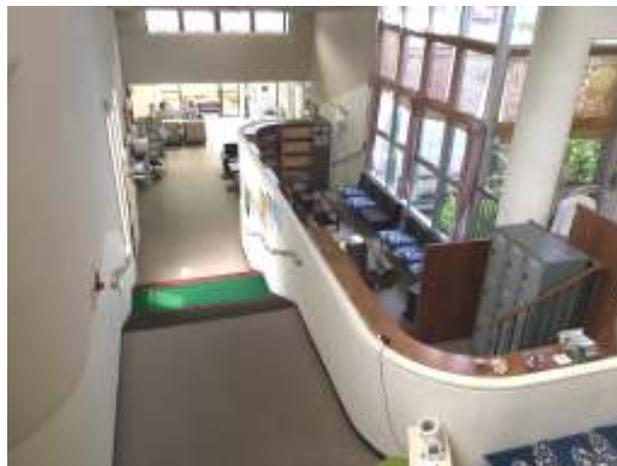
「市役所で福祉部門の仕事もしておりました。地域福祉についてのヒアリング等で玉縄地域の皆さんとお会いすることもありましたね。今も変わらず静かな住宅地でいいところですよ。時々『トイレ貸してください！』って学校帰りの子が駆け込んできたり、幼稚園バスの送迎地点になっていたり。近くの養護施設の皆さんも定期的にペットボトルの回収にいらしています。」閑静な町並みの中で小さなランドマーク的な存在にもなっている。

玉縄すこやかセンターは市内に5か所ある鎌倉市老人福祉センターのひとつ。こちらのセンターは鎌倉市社会福祉協議会が指定管理者として運営している。60歳以上の市民であれば誰でも利用できるが、身近に利用者がいないとやや縁遠い場所だ。入ってみると、外からの印象よりずっと広くて明るい。高い天井に大きな窓、図書スペースの湾曲した壁も素敵なデザインだ。開放的でモダンな雰囲気は、前を通るだけではわからなかった。

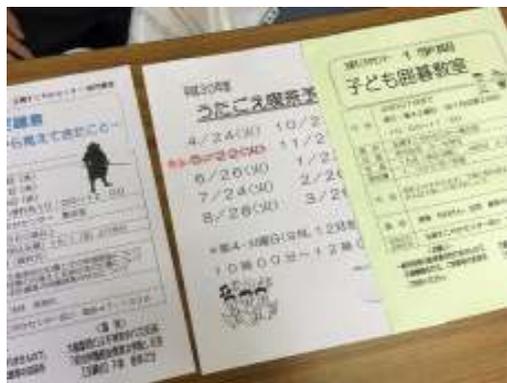
「そうですね。自分もオープン当時ずいぶん洒落た作りだな、と思った記憶があります。昭和58年にできた建物なのでご不便をおかけしていますが。」

それでも60代、70代はもとより、元気な80代や90代の常連も珍しくない。

「こちらがパワーをもらっているくらいです。『老人』というイメージでは全くありませんね。本当に皆さん元気でサークル活動もさかん。運動したり、歌ったり、学んだり。こちらで企画



する歴史講座や文学講座もすぐにいっぱいになることが少なくありません。今は人生100年時代と言われます。余生じゃないんです。これから新しい趣味を見つける、勉強する、友達を作る。そういう時代を生きるみなさんのお手伝いできればと考えています。」

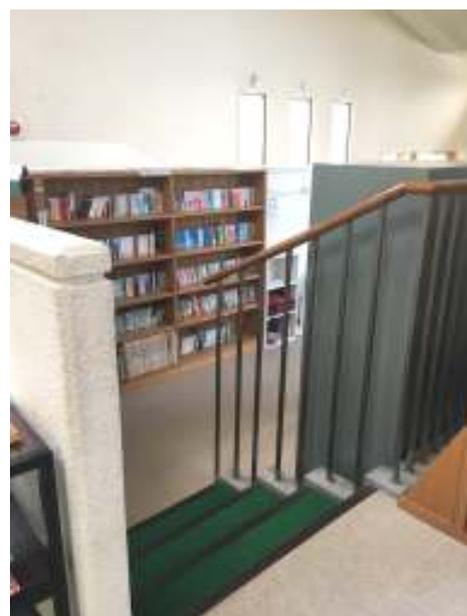


センター主催の講座や企画も好評。サークル活動は民謡、三味線、カラオケ、絵画、体操、舞踊、グランドゴルフ、ヨガ、囲碁、将棋、語学に手芸など実に幅広い。

館内からつながる人工芝のグランド。奥にはゲートボール等が楽しめる敷地もある(写真右)。

明るいろビーでおしゃべりに花を咲かせる人も多い。玉縄の歴史談議や樹木の話、草花に詳しい人、囲碁将棋が得意な人もいる。年齢を重ね、皆経験や知識が豊富なのもこういった場所ならではの。豊かなコミュニケーションがそこにある。活動中のサークルは30を超え、多くの利用者が充実した時間を過ごす。すでに理想的な空間として機能しているように思われるが、これからの課題、地域に求めることなどはあるのだろうか。

「例えば世代間の交流に関しては、先生役の利用者が小中学生に囲碁を指導する講座もありますが、子供たちのスケジュールとのすり合わせなど課題もあります。」毎年9月に行われるフェスティバルでは各サークルの発表会があり、地域住民との交流がにぎやかに図られているが、同センターは老人福祉施設であって、子どもたちや50代までの市民に普段から開放することはできない。



「それから周知についてはまだまだ課題があると感じます。老人施設というトリハビリや介護関係のイメージが先行して、元気な皆さんのコミュニティという役割が理解されにくいことも多い。何となく敬遠しているような方には、例えばお風呂に来るだけでもいい、マッサージチェアでのんびりするだけでもいい、そういった利用ができることを知ってほしいです。せっかくこういった場所があるわけですから。体を動かすだけではなく人との交流がどれだけ毎日を豊かにするか。全国的な話でもありますが、鎌倉市は高齢化が進んでいる自治体です。これからこういった場所はさらに注目が集まると思います。ルールや

たっぷりの湯にジャグジーの泡、優しい陽光がふり注ぎ、実に気持ちがよさそうだ。定員は5人。一番風呂が人気だが、それほど込み合うことはない。「お風呂だけでも是非ご利用いただきたいですね。」(嶋村さん)



マナーは守っていただき、より多くの方々に自由に活用してほしい。楽しんで生きることが自ずと健康をもたらしてくれる。利用者の皆さんを見ていてもつくづく感じることです。」

頼もしい新所長を迎え、今後ますますその役割を大きくしていく玉縄すこやかセンター。人生100年時代のモデルとして注視、応援していきたい。

玉縄すこやかセンター

市内在住の60歳以上の人なら誰でも利用できる。

入館、入浴も無料。講座の受講などは費用別途。

見学なども随時受け付けている。

電話/FAX 0467-47-1338

tamanawa@kamakura-shakyo.jp



鎌倉生まれ鎌倉育ち。63歳。今は市内に住む両親の見守りしながら、休日などにウォーキングをしている。「潮風に当たりながら海浜を歩くのが好きで、自宅のある津西から江の島神社方面まで、往復1時間ほどのコースを歩きます。」趣味は旅行。若いころからの鉄道好きで、カメラを携え日本中を旅した。「旅先の温泉が楽しみです。特に印象に残っているのは北海道や東北地方、雪の露天風呂でしょうか。」最近はなかなかまとまった時間がとれないが、日帰りで日本海の夕日を見に行くなど、昔からの仲間と連れ立って出かけることもある。